

第104回スタディグループ分科会(2022年度WG7発表会)結果報告

運営委員長 田島 洋
(文責:平野)

1. 開催日時 2023年3月15日(水) 14:30～17:00
2. 開催場所 文京シビックセンター 5F区民会議室A (Zoomオンラインとの併用)
3. テーマ 「品質不正と監査役」
4. 発表者
コーディネータ 菊谷 純 氏 元・三菱電機システムサービス(株) 常勤監査役
リーダー 南波裕樹氏 大成設備(株) 常勤監査役
メンバー 豊島秀一氏 三井ホームコンポーネント(株) 常勤監査役
深谷和章氏 王子木材緑化(株) 常勤監査役
5. 出席者 34名(会場リアル参加13名、Zoomオンライン参加21名)
6. 事前配布資料
 - ・配布用パワーポイント
 - ・添付資料2点
 - ・発表スケジュール
7. 発表と質疑の内容
 - 1) 主な発表内容
 - ①メンバー紹介とWG7の目的と活動内容について説明。(南波氏)
《活動の目的》
 - ・各社の事業状況・機関設計・親会社との関係等の情報共有と監査役の課題共有を行なう。
 - ・『品質のための監査役活動』をテーマに、課題解決に向けて相互に協議していくことで、監査能力を高め、監査役職務の精度向上を図る。
 - ・企業の健全で継続的な成長につながる監査役活動を追求していく。
《活動のプロセス》
 - ・品質とは何か→品質リスクとは何か→監査役監査は何をするのか→監査役は何ができるか→監査役がやるべきことの5つのプロセスを考えた。
 - ②大手電機グループの事例を中心に、品質不正について最近の動向を説明。(菊谷氏)
 - ③各自、自己紹介と会社の概況を説明した後、5つのプロセスごとに3社の状況を比較して一覧表にまとめたものを説明したうえで、自分の会社の事例を紹介するという方式で10分ずつ発表する。
まず(1)「品質と品質リスクについて⇒品質確保の仕組み、品質リスク(品質不正)発生の原因・背景、品質不正が与える影響」について説明。(南波氏)
 - ④(2)「品質に関する経営課題」について説明。(豊島氏)
 - ⑤(3)「品質に関する監査役監査⇒品質への監査、品質リスクへの監査」について説明。(深谷氏)
 - 【10分休憩】
 - ⑥「品質のための監査活動」について、未然防止のための仕組みづくり、品質不正防止のための仕組みづくり、品質に関する経営アドバイスなど各社の取り組みと、「あるべき姿」についての各自の考察を南波、深谷、豊島氏の順で10分ずつ説明。

- ⑦まとめとして、大手電機グループの事例から、品質不正はなぜ見つけれなかったのかを考察し、改善策について提言。(菊谷氏)
- ⑧発表を終えるにあたってのまとめ。WG7で統一した「あるべき姿」を導き出せばよいのかもしれないが、さまざまな「あるべき姿」が見えたことによって、皆さまの会社の業種、ビジネスモデルが違いう中で、いかに不正をなくしていくかということについて照らし合わせながら考えていただけたらと思う。(南波氏)

2) 質疑、感想

- ①耐震強度の偽装問題が起こった際に、建設・不動産業界全体で、あるいは各社で再発防止のために、より強化して取り組んだことがあれば教えて欲しい。
- ②品質に関する内部監査で「品質ウォークスルー」を実施したという説明があったが、具体的にどんなことをやられたのか教えて欲しい。
- ③今まで監査懇話会として品質問題を何度か取り上げてきたが、その集大成的な内容で、素晴らしかったと思う。あるべき姿の提言だけでも非常に豊富な内容があって、まさしく監査役でないと出てこないような視点の提言が数多くある。論文の形にしてまとめていただき、監査懇話会のHPIに載せる。あるいはもっと外向けにも発信してもらってもよいのではないか。この分野は非常に重要だが、難しく、監査役の立場からの提言はあまり無くて、非常に貴重な存在なので、ぜひそういう方向で検討して欲しい。
- ④最後に、リーダーの南波氏が全体をまとめた。この問題は議論すればするほど深くなっていった答えが見えづらくなってくる難しい問題だった。半年の期間では足らず、4名の議論は尽きなかった。成果物としてまとめるということもあるし、続編という形でまたもう一つの企画を考えることも必要ではないかと思う。まだまだ監査役の方々の中でもこの問題に対する取り組み方というのは十分とはいえない。いつ自分の会社で発生するかもしれないという自分ごととして考えて欲しい。

8. 来年度に向けて

- ・ 司会の山川氏から、今年度のSG分科会の発表はこれですべて終了、来年度のテーマは改めてご案内させていただくので、来年度も奮ってご参加をお願いしたいとの呼び掛けがあった。

以上